

株式会社新栄

夢と未来に向かって羽ばたき、更なる飛翔の為に、常に初心の気持ちを忘れず、微力ながら日本経済・地域の活性化に貢献する会社

【会社概要】

■会社名：株式会社新栄

■本社・事業所

〒273-0047 千葉県船橋市藤原 3-29-21

TEL 047-439-5211（代表）

FAX 047-430-1415

■設立：1977年2月17日

■役員：代表取締役 林 卓也

■資本金：3,000万円

■従業員数：27名(2018年1月時点)

株式会社新栄は、千葉県船橋市に本社兼工場をもつ中小企業です。業種は製造業で、1977年の設立以来、“物づくり”でお客様の課題や悩みを解決してきた会社で、様々な製造方法の中でも、特にプレス加工・カッティング加工・アッセンブリを得意としており、OA機器・車・工業機械に使用される各種部品の製造・販売を行っています。

弊社で製造する部品は、縁の下の力持ちとして様々な物に使用されていて、代表的な物としては、皆さんが日頃使用しているパソコンや車、テレビ、電話などから、直接使用することはなくてもどこかでお世話になっている紙幣・硬貨処理機や信号機制御盤、スマートメーターなど、幅広いところで活躍しています。

製造業・工場というと、皆さんお硬いイメージや、怖い職人さんというイメージを持つと思いますが、弊社には The 職人という

人はいなく、和気あいあいとした雰囲気の特徴です。また、2015年に代表者が交代してから、全社で重要視し優先的に取り組んでいるのが労働環境の改善・向上と定期新卒採用です。弊社では経営状況を科学的に細かく分析し、その数値を全従業員で共有することにより、「給与」「休日数」「福利厚生」などの改善・向上が実感できるようになっています。不思議なことに、それ以来業績も毎年上がっており、従業員満足度を上げることが、会社の好業績にも繋がるというのを実践できている会社です。

○ロマン

モノづくりで世界中の人々を笑顔にする！

○ビジョン

売上高 10 億円！ 経常利益率 10%！ 従業員 50 名！給与、同業他社に対して 120%！「中小企業にしては福利厚生良いね」と言ってもらおう！

○経営理念

モノ作りで、お客様の課題・悩みを解決するお手伝いを致します。

お客様が心から安心できるモノを、素早くご提供致します。

モノ作りを通して、すべての人々、地域社会と自然環境に貢献するために永続します。

○基本理念

人のために、正しく、仲良く！

■スピーカー
代表取締役 林 卓也

テーマ：

就職活動に向けて

1. 製造業の業界展望

「カレンダー、時計、地図、メモ帳、路線図、辞書、カーナビ、預金通帳、チケット、電話、カメラ、テレビ、オーディオ、ゲーム機」。これらは、携帯電話・スマホにより単体での活躍が減ってきた物です。当然、これにより物のトータルとしての製造量は減り、それに比例して必要な部品数も、売上も減っていきます。つまり、既存のモノは、種類も数量も減っていく傾向で、昔は単体での製造・販売が当たり前だった物が、技術の発展により、何かの一部に置き換わられていくというのは、いつの時代も必然と繰り返されており、当然の流れではあります。ただし、日進月歩で技術の開発速度が上がっており、従来は10数年、または数10年単位で起こることが、僅か数年でこのような動きが見られる時代になってきました。さらに海外勢の製造能力も決して目をつぶることができないほど、レベルが上がってきており、国内の製造業には険しい道が待っている状況です。

このような時代では、特に大企業が狙う大きな市場は、異業種の競合が増え、競争が激化し、統合などにより生き残りを狙う、つまり「前に逃げる」企業が増えてきています。以前は、大手自動車メーカーだけが車を作っていたのが、最近は大手电機メーカーまでもが自動車製造に乗り出し、異業種間で

の競争が起こっています。大企業と大企業の協業、合併なども連日報道されるようになり、ますます増えてきており、市場サイズの変化などに大きな体では収まらなくなってきたことが明らかに現れています。このような協業・合併では1+1=2にはならず、工場閉鎖やリストラなどにより、1+1=1にするのが精一杯の企業も多いのが実情です。その一方、大企業が狙わない・狙えない小さな市場は、色々な商品が生まれ、今までなかった市場ができる可能性が増えています。それこそ正に身軽な中小企業が活躍できる市場であり、優良な中小企業はこれからの時代でも輝くことができます。例として、繊維業の下請けだった中小企業も、繊維産業の製造拠点が海外にシフトし、一時期業績が低迷していましたが、特殊燃糸工法を用いたタオルを自社ブランドとして生み出し、業績回復を果たした。千葉県松戸市の食品製造用装置の製造を手がけている中小企業も、自社ブランドとして潤滑油を生み出し大ヒットとなり、現在、タイなど東南アジアに進出しています。近年、このような中小企業が増えてきているのは、従来構築が必要だった、販売・告知ルールは、今の時代インターネットの力でだれでもどこにでも売れる、というのが大きな要因となっています。前述の2社もインターネットでの販売が好調でメディアやSNSなどもうまく活用し顧客獲得をしています。このように、各中小企業や、一人ひとりのアイデアで市場を作れ、比較的簡単に販売ルートを構築できる今の時代は、中小企業でのモノづくりが面白い時代と言えます。

2. 私のキャリア・経験

①学生時代

高校卒業後は、エスカレーターで付属の大学に進学した、明らかに楽な受験しか経験をしていない人間です。大学1年生では、ほとんど授業も受けず、1年終了時には、単位が20単位未満と散々な状況で、親と共に三者面談に呼び出されることになり、親に迷惑をかけたこともありました。またサークル活動も熱心に行っており、将来に渡って長年できるスポーツとして、テニスを始めました。4年生では当然のごとく就職活動にも出遅れ、将来やりたい事も見つからず、親のスネをかじり逃げるように留年し、2回目の4年生を過ごしますが、そこでも就職活動に身が入らず、再度逃げる形で大学院に進学。と、大学では落ちこぼれ学生でした。そんな自分の最初の転機は大学院生のときです。流石にこれ以上、逃げ道もなく、言い訳もできないと思い、遅れている分を取り戻そうと勉強をある程度しました。そして、就職活動も、周りと同じスタートで行い、できれば自分の得意な理系知識や論理的思考が活かせる分野で就職したいと考えられるようになりました。その結果、東京エレクトロンや現ルネサスエレクトロニクスを始めとする大手企業から内定をいただくことができました。

②サラリーマン時代

2005年に現ルネサスエレクトロニクスに入社しましたが、同期の中では学歴も底辺であり、大学院では半導体露光機の光源を研究していましたが、配属されたのは、デジタル回路設計・評価部門でほぼイチから

勉強のやり直しが必要になりました。さらに一年目のテーマが、「最先端技術のSRAM回路設計・評価」と、部の年間目標の一つを任せられてしまい、案の定、年末には進捗が悪く、会議中部長に怒鳴られるということもありました。しかし、見返したいという一心で設計・評価に没頭した結果、翌年の事業部表彰にて、新卒1年目で受賞することができました。さらに名目だけが特許も出願しました。入社6年目では、同期の中でも比較的早めに昇格することができ、とても充実した日々を送っていました。しかしその直後の2010年同業他社との合併が起こりました。各出身者による社風・文化の違いを実感し、統合前と仕事のやり方も雰囲気も一味変わりましたし、40歳以上の人には、早期退職を集う肩たたきが始まるなど、一時期異様な雰囲気も感じました。そんな中、2012年父の経営する新業を継ぐために退社。継ぐ理由は、「自分を育ててくれた新業の従業員のため」。ただ、とても雰囲気の良い会社だったので、最初の頃は後悔の気持ちも多々ありました。

③学生時代とサラリーマン時代で得たこと。

これらの学生・サラリーマン生活から3つのことを学び・得ました。

- 1つ目が「継続は力なり」。1社で丸7年間勤めたこと、アルバイトも一つを8年間、サッカー10年、テニス継続中と、元々一つのことが長続きする性格ではありますが、やはりとてもメリットがあると感じたのと、簡単に逃げては、自分も環境も変わらず、結局同じことの繰り返しだと思います。
- 2つ目が「人脈形成の重要性」。不真面目で墮落していたときに、大学を卒業でき

たのは同級生のおかげ、落ちこぼれで入社した前職で辞めなかったのも同僚・同期のおかげ、辛い時困ったときに助け合える仲間は何よりの財産です。

- ・3つ目が「努力は裏切らない」。自ら学ぶ癖をつけたことで、元々落ちこぼれでも少しは役に立つことができます。教えてくれないからと言う人は、教わっても勉強しない、自らが努力をしなければ何も変わらない、ということ学びました。

④新栄 従業員時代

入社1年目は、現場勉強のため工場で、全ての種類の機械を使いこなせるようになるまで修行。社長の息子として、使えないと思わせたいのか軽いいびりにもあいますが、実力で見返してやるとむしろ糧にし、2年で一先ず工場を卒業しました。「社長が馬鹿だと従業員が苦勞する」と先輩経営者に言われたことに刺激を受け、経営者勉強会に参加。入社3年目は、営業で外回りの修行。勉強会で学ぼうちに、大卒の新卒採用に興味をもち、中小企業が集まって採用活動を行う共同求人委員会に入会。将来会社の軸になる人材探しを始める。この頃は、社長と衝突しないように、将来やりたい大きな変革については、水面下で肅々とやりだすが、やはり時には衝突することもありました。

⑤新栄 経営者時代

入社4年目にあたる2015年代表取締役へ就任。就任してまず最初に行ったのが給与アップ、労働基準法遵守と企業理念策定です。これらは従業員時代に温めておいた重要度が高いものだと思い、就任と同時にすぐに実行しました。2016年には待望の大卒新卒1期生が4名入社。しかしその直前に既存社員2名と、準社員2名の合計4名

が退社し、工場が火の車状態になり、連日現場作業の生活に戻ることとなりました。従業員のために！と張り切っていた矢先の悪夢で、代表交代・新卒採用開始で退職者がでることは、通例とのことで予想はしていましたが、タイミングと人数は想定外でした。2017年には従業員・経営者が将来を描けるようにと、10年後の中期経営計画を策定し将来の会社のあるべき姿・目指すべき姿を明文化しました。2018年には共同求人委員会の委員長就任させていただき、新卒採用の充実と2016年の恩返しをするべく、日夜精進しています。

⑥新栄で得たこと。

新栄では従業員、そして経営者として大きく3つのことを学び・得ました。1つ目が「何のために働くか、働くとはどういうことか」という自分なりの答えがようやく見つかったというよりも、よく言われる「自分や愛する者(家族や従業員)のために働き」、「他者を幸せにすることが働くということ」というのが、ようやく腑に落ちる様になりました。2つ目が「人は支え合って生きている」ということで、辛い時は支えてもらい、困っている人は助ける、そして、自分が今の生活ができるのは、世の中の人の働きあってこそというのも理解できるようになりました。3つ目が「ポジティブシンキングの重要性」で、何事もプラスに考えれば、自分も周りも成長できる。悩み過ぎ、考え過ぎ、気にし過ぎ、”過ぎ”は良くないというのもとても重要なことだと学びました。

3.就活生へのアドバイス

まず、少なくとも私の大学生生活のよう

な何事からも逃げるということは、決して真似してはいけないと思います。また不真面目な人生を送ってきた私の口からはとても愚痴がましいですが、敢えて言わせていただくと、自分や家族、社会のためにも、働けるなら働いてみてはどうでしょうか？就職活動を控えている学生は、大きく2種類の状況に置かれていると思います。

その2種類とは「やりたい事、目標がある程度決まっている人」と以前の私のように「やりたい事、目標が決まってない人」です。前者の方は、該当する会社を数多く回り、先輩や人事担当者以外と会い、その会社を良く知り、“知らなかった”を無くしましょう。大企業は確かに平均して福利厚生の待遇面も良いですが、良いことばかりではありません。早期退職を募る肩たたきだけでなく、昇格試験に2回落ちるともう昇格する可能性が0になるという会社もありますし、主任以上はみなし残業のみの残業代支給なしなど、それらを知った上で許容したならば本人の意志で良いと思いますが、よくあるのが入社してから知ったが、当人には許容できなかったということです。そのためにも、採用・人事担当者だけでなく、入社している学校の先輩などから実際の話聞くことがとても重要です。「やりたい事、目標が決まってない人」は、自分ができることと、好きなことを分け、何が許容でき、何が許容できないかを、まずは考えてみるのが大事だと思います。私の場合は、理系知識や論理的思考ができる・得意、会社の雰囲気の良いのは許容できないという条件から、メーカー中心の就活で、一番雰囲気の良かった会社に就職しました。今でもその判断は正しかったと思えるぐらい、とても

雰囲気の良い働きやすい会社でした。また、最初に選んだ会社は最低3年は務めないとその後の人生にマイナスの影響が出る可能性も高いです。早期退職の理由で多い3つは、

- ①労働基準法を守らないブラック企業
- ②やりがいを感じない
- ③人間関係

が、よく挙げられます。まず①です。程度ですが酷い場合はすぐに辞めた方が良いでしょう、つまり、就職活動で最初にこれだけは選んではいけないということです。②は、入社した直後は、やりがいを感じなくても珍しいことではありません。色々なことを覚え、周りが見えてくると自然とやりがいを見つけることができる場合も多いです。③では、どの会社でも1人、2人あわない人がいる可能性があります。その度に逃げるよりは、克服する方が自身の成長に繋がると考える方法もあります。ただし、我慢し過ぎ、無理し過ぎなど”過ぎ”は禁物です。

4.最後に

自らのアイデアをカタチ・モノにできる製造業は、とても面白い業界だと思います。もし、興味がありましたら、就職活動で色々なメーカーを見て回って下さい。

就職活動も社会人になっても、自分次第でほとんどの事はどうにでもすることができます。すぐ、社会や会社や他人のせいにする他責型では、自分自身も幸せにはなれません。皆さんはまだ若く、色々な可能性を秘めていますので、頑張ってください